

# りはる - Re 春 -



## 訪問リハビリ テーションの ご案内

当院では、退院後の患者さんがより自立した日常生活を過ごせるよう、経験豊かなスタッフによる訪問リハビリテーションを提供しております。確かな技術ときめ細かなサポートで、ご利用の方よりご好評を頂いております。当院に入院歴のない患者さんもご利用頂けますので、ぜひご相談ください。

【対象範囲】東淀川区・淀川区内で、病院から半径3km圏内

【提供日時】月～土 9:00～17:00（日・年末年始を除く）

【お問合せ先】淀川平成病院 地域連携室

献立・調理コンクール  
優勝ランチ

# ”楽しみになる” 食事への取り組み

野菜のジューズ  
と和え



ゆず香るごま味噌豆乳鍋

もずくの  
かき揚げ

雑穀の  
のっけおにぎり

ずんだぜんざい

平成医療福祉グループでは、グループの献立・調理の質向上を目的に、各病院・施設の代表者が、テーマに沿ってオリジナルの献立で腕を競う「**献立・調理コンクール**」を毎年開催しています。

今年のテーマは「**まごわやさしい**」。日本の伝統的な食材を使い、健康な食生活を送るための献立です。

コンクールで上位入賞した献立はグループ内で共有され、年間を通じて各病院・施設で提供されます。（左の写真は関西地区で1位に輝いた「**令和版『まごわやさしい』冬の健康ランチ**」です。）

調理師や管理栄養士たちの熱い想いと創意工夫に溢れた献立は、「今日はどんな料理かな？」と食事をますます楽しみなものにしてくれます。

「まごわやさしい」  
とは、日本の伝統的な食材である、**ま**め、**ご**ま、**わ**かめ、**や**さい、**さ**かな、**し**いたけ、**い**も、の頭文字を合わせた合言葉です

季節の献立

～節分の日の献立～

食事を通じて食べる人に四季を感じて頂けるよう、季節の献立にも取り組んでいます。節分の日には、恵方巻をメインに「豆」や「イワシ」を取り入れた献立です。**恵方巻は、病院の厨房で一つ一つ手作り**しています。味はもちろん、切り口の美しさも”楽しみ”のポイントです。



## 2022年度 11月～1月当院実績

在宅復帰率	重症度割合	重症患者改善割合	アウトカム評価
85.2%	56.3%	57.6%	64.9

### アウトカム評価

入院中に効果的なりハビリテーションが行えたかどうか、特定の指数でアウトカムを評価しています。医療保険の基準では、**40以上**であることが求められています。**短い入院期間で生活機能が向上するほど、高い指数が出る**ようになっています



## 飲める・噛める 食べられる

患者さんが口から食事を摂れるように、自分の歯（入れ歯）で噛めるように、多職種による日頃のケアを通じてサポートしています。



STによる食事介助。食事を摂る時の姿勢（角度）は重要です

淀川平成病院では、食事を摂ることが困難な患者さんに対して、ST（言語聴覚士）やOT（作業療法士）、看護師や歯科衛生士が協働して食事を介助しています。

口や飲み込みの機能が低下した患者さんに、安全に食事を摂って頂くためには、食事の際の姿勢や食べている様子、食事の形態、食後の口の中の状態など、たくさんの事に注意が必要です。それを、各職種がもつ専門的な視点を合わせながら介助にあたることにより、少しずつ自分で食べられるようにサポートしていきます。

退院後の生活をイメージしながら、患者さんの自立支援に取り組んでいます

## 【院内学習会】PUSH! 全職員でBLS（Basic Life Support）

心肺停止に陥った人へ速やかに救命処置を施せるよう、全ての職員を対象としたBLS（一次救命処置）の訓練を行いました。訓練用の人形を使って、職員一人一人が「患者の状態を確認する」「胸骨を圧迫する」「AEDを操作する」ことを実践し、BLSのポイントを習得することが出来ました。



普段、直接患者さんに触れる機会の少ない職種や、AED・バッグバルブマスクを初めて操作した職員にとっては、緊張しつつも学びの多い研修になりました。また、現場のスタッフが指導役を務め、職種や職場も異なる職員同士が同じチームになって訓練に取り組んだことで、職員間の新たな交流の機会ともなりました。職員個々のスキルとチームワークの両面を強化するBLS研修は、次年度以降も続けていきます。

BLS研修を受講した職員の名札には専用のシールを貼っています



より良い医療を  
目指して

## 私たちは、 6つの取り組みを推進しています

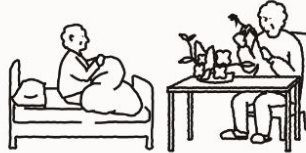
✓ 身体抑制は  
廃止します



✓ 適切で  
楽しい食事を  
提供します



✓ 積極的に  
離床します



✓ 「自分でトイレ」  
を応援します



✓ 「口から食べる」  
を応援します



✓ 多剤内服には  
させません



「飲み込み力」をつけるトレーニング

### 呼吸トレーニング

飲み込み力をキープしていくには、呼吸機能を衰えさせてはいけません。空になったペットボトルを膨らませたりしぼませたりして、肺活量を鍛えましょう

② 思いっきり息を吐いてパンパンになるまでふくらませていきます



5回繰り返す

① ペットボトルを口にくわえ思いっきり息を吸って、クシャッと縮んでペシャンコになるまでしぼませます

吸う時はお腹が苦しくなるまで吸って、吐く時は肺の中の空気を出し切るくらいのつもりで吐くのがコツです。

初めは、柔らかい材質でできた500mlのペットボトルからスタートしてみましよう。



出典元：  
「肺炎がいやなら、のどを鍛えなさい」  
西山耕一郎著（飛鳥新社）

外来  
受付時間

午前 8:30～11:30 (月～土)  
午後 13:30～16:30 (月～金)

休診日

土曜PM・日曜祝日  
年末年始

医療法人 康生会  
淀川平成病院

☎ 06-6326-7100

🌐 yodogawahp.jp ✉ info@yodogawahp.jp

〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島6丁目9番3号